

# 「いわき市中山間地域住民アンケート」結果報告書【概要版】

## 1 調査目的

本市においては、中山間地域の日々の暮らしを支える環境整備や、中山間地域の地域力の維持・活性化を図り、もって地域の皆様が安全に安心していきいきと住み続けることができる地域社会の実現を目的に、中山間地域の課題解決に向けた取組方針を策定することとしている。

このアンケートは、中山間地域が抱える課題や住民の皆様のニーズを把握するとともに、当該取組方針策定にあたっての基礎資料とすることを目的として実施した。

なお、アンケートは、対象地区のお知らせ回覧により世帯に対して配布・回収を行った。

## 2 調査実施概要

### (1) 調査対象地区

市の中山間地域のうち当該地域の抱える課題がより顕著にあらわれると考えられ、既に中山間地域集落支援員を配置して維持・活性化の支援をしている遠野地区、三和地区、田人地区、川前地区及び小川地区（福岡、上小川地区）の5地区。

### (2) 調査期間

- ① 遠野地区 令和3年11月19日（金）～12月3日（金）
- ② 小川地区 令和3年11月24日（水）～12月8日（水）
- ③ 三和地区 令和3年12月10日（金）～12月24日（金）
- ④ 田人地区 令和3年11月19日（金）～12月3日（金）
- ⑤ 川前地区 令和3年12月1日（水）～12月15日（水）

### (3) 実施内訳

（単位：世帯）

地区名	調査対象数 (A)	回収数	無効回答 (※)	有効回答数 (B)	有効回答率 (B/A)
遠野地区	1,508	1,184	30	1,154	76.5%
小川地区	558	433	8	425	76.2%
三和地区	912	701	13	688	75.4%
田人地区	575	445	8	437	76.0%
川前地区	408	296	7	289	70.8%
	3,961	3,059	66	2,993	75.6%

※設問のうち半数以上を無回答とした調査票については、無効回答としている。

### (4) 設問項目

項目	内容
1. 回答者の属性について	性別、年齢、職業、住んでいる行政区
2. 世帯の状況について	世帯構成、世帯構成員数、主な収入、跡継ぎの有無
3. お住まいの地域について	愛着・誇りの有無、生活環境（現在・今後）、地域に望む将来像、まちづくりの主体
4. 日常生活の状況について	食料品や日用雑貨の購入手段、頻度、場所、利用する交通手段、通院の場所、頻度、利用する交通手段
5. 生活上の課題や対策について	日常生活の課題、地域コミュニティの衰退理由、望む施策
6. 今後の生活について	今後の居住場所、移転する場合の家屋等の取扱い
7. 地域の現状や課題に対する意見等	自由記入

## 3 本調査のまとめ

### (1) お住まいの地域について

- ・（問9）「愛着・誇りがある」、「どちらかといえばある」が約61%。
- ・（問10）生活環境が、今後「不自由になる」が約59%。
- ・（問11）地域の将来像は、「安らぎや癒しが得られる自然豊かな地域」が約36%、「住民どうしのコミュニティ豊かな地域」が約18%、「現状に満足しているので、このまま維持して欲しい」が約12%となっており、これらの合計で約66%となっている。
- ・（問12）まちづくりは、「地域住民と行政の協働」が約61%。

中山間地域の方が、愛着や誇りを持ち続け、いきいきと暮らせる環境の維持に向けた取組みを進める必要がある。

また、豊かな自然や人の絆を活かすなど、中山間地域特有の魅力や価値を高めるようなまちづくりを、地域の方々と行政の協働で進める必要がある。

### (2) 日常生活の状況について

- ・（問13-1）食料品や日用雑貨の購入は、「自分自身で購入」が約71%。
- ・（問13-2）食料品や日用雑貨の購入頻度は、「1週間に1～2回」が約66%。
- ・（問13-3）食料品や日用雑貨の購入場所は、「町外」が約75%。
- ・（問13-4）食料品や日用雑貨の購入で最も利用する交通手段は、「自家用車（自分が運転）」が約87%。
- ・（問14-1）日常の通院先、夜間・救急などの診療時間外の通院先の両方において、「町外」が58%。
- ・（問14-2）通院の頻度は、「月に1回」が約60%。
- ・（問14-3）通院の際に最も利用する交通手段は、「自家用車（自分が運転）」が約76%。

買い物や通院の交通手段は、「自分が運転する自家用車」が一番多かったものの、年齢別にみると80代、世帯構成で見ると単身の方が「別居の家族や知人に購入してもらう」と回答している方が多いこと、またアンケート回答者の約77%が60代以上であり、現在は自分で運転して買い物や通院ができていても、今後、免許返納等により移動困難者となる可能性が高いことから、高齢者の移動手段の確保について検討する必要がある。

また、自由意見において、商店や診療所が近場がないことを課題として挙げている意見もあり、今後、買い物等の日常生活の支援についても検討する必要がある。

### (3) 生活上の課題や対策について

- ・（問15）生活上の課題について、「バスや鉄道などの交通の便が悪い」、「近くに食料品等を買うお店がない」、「鳥獣被害が発生している」、「病院や診療所が近くでない」の順に回答数が多い。
- ・（問16）地域コミュニティの衰退理由は、「地域の人口減少、少子高齢化の進行」が約73%。
- ・（問17）望む施策は、「交通手段の確保・充実」、「地域医療の充実」、「鳥獣被害対策」、「買い物の支援」の順に回答数が多く、「防災情報伝達の強化」、「地域イベントの開催支援」、「自主防災組織の機能強化」の回答数は少なくなっている。

日常生活における買い物をはじめ、通院の不便さや鳥獣被害、就業の場、さらには農林業の後継者など、多岐に渡る課題への対応とともに、地区の特性に応じた対策を図る必要がある。

また、防災に関しては、アンケート結果から高い自主性が伺えるものの、地域の人口減少や少子高齢化の進行による地域コミュニティの衰退等を見据え、持続的な活動に向けた支援の必要がある。

(4) 今後の生活について

- ・(問 18)「現在の場所に住みたい」が約 66%。
- ・(問 19) 移転する場合の家屋や土地の扱いについて、約 27%の方が「できれば売りたい」、約 6%の方が「売る気はないが、貸してもよい」と回答しており、合計約 33%の方が、移転後の家屋の活用を考えている。

一方、約 16%の方が「当面、そのままにしておく」、約 13%の方が「時折帰ってきた際に利用する」、約 5%の方が「将来帰ってこられるように今後も管理していく」と回答しており、合計約 34%の方が、移転後も所有し続けると回答している。

地域住民が望むように、今後も現在の場所に、安全に安心して住み続けられる環境の整備を進める必要がある。

なお、年齢別でみると 20 代について、他の年代と比べ他の場所に移りたいとする回答割合が高くなっており、地域の活力を維持するためにも、若者が住み慣れた地域に住み続けたいとする魅力づくりや空き家の活用等の施策を検討する必要がある。

(5) 自由意見

地域の現状や課題に関する自由意見の傾向は 5 項目に区分。

【中山間地域の現状や課題に関する自由意見】各項目の件数と主な意見の概要

項目	主な意見（抜粋）
中山間地域の現状・課題 199 件（44.6%）	・高齢による運転免許返納後の交通手段がなく移動に不安を感じる。買物・通院等に不便を感じる。 ・飲料水の確保。通信インフラの整備。・若者の働く所がない。 ・消防団に入団してくれる人がいない など
中山間地域の振興に肯定的な意見 14 件（3.1%）	・過疎化により町おこしなど地域を発展させる手段が必要。 ・地域の良さを広く知らしめたい。 ・地域コミュニティの充実（活動を活発化させる）。
中山間地域の振興に否定的な意見 5 件（1.1%）	・今さら何をしても無理。 ・人口増加になれば良いが迷惑な人が増えると困る。 ・コンパクトシティー化。高齢になるにしたがい利便性のよい地域に移る。時折帰る。中山間地域はむしろ若い世代に。
市への要望・提案 187 件（41.9%）	・最低限のライフラインの整備。 ・若者をもっと移住させるべきだと思う。働く場の確保。 ・中山間地域の果している役割を地区外の市民に知ってほしい。 ・交通手段の確保、医療（病院）の確保。 ・移動スーパーとかが来てくれると、便利で良いと思う。 など
その他 41 件（9.2%）	・もう少し早く中山間地域の課題解決のため、対策をしてもらいたかった。 ・この様なアンケートは必要な事かも知れないけど、高齢者にはちょっと大変。
自由意見総数：446 件	